

一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は20人27件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

多摩国体 市の体育施設で 開催は可能か

市民球場と総合体育館は 一定の要件を備えている

比留間 利蔵議員 平成25年に多摩国民体育大会の開催が予定されている。国体競技が本市で開催されることは、コミュニティの形成や郷土意識の醸成という面



▲市民球場

問題点は、両施設とも改修から年月が経過しており、耐震化の問題や観覧席の確保等が今後の課題といえる。

から有益であり、積極的に誘致する必要がある。しかし、本市のスポーツ施設は、大変充実しているものの、大きな大会の開催となると、老朽化等の問題が考えられる。そこで、体育施設の中核をなす総合体育館や市民球場等は、多摩国体時にも対応が可能か。また、問題点は何か聞きたい。

生涯学習部長 国体の場合、競技種目により、競技場の面積、コート数の確保が必要条件となるが、市民球場と総合体育館は一定の要件を備えている。一方、陸上競技場の場合、補助競技場として、公認競技場が必要となるので、開催は厳しいと考

稲城大橋有料道路 無料化に向け 複数市で交渉する考えは

関係市で構成する協議会で 対応を協議したい

林 辰男議員 稲城大橋有料道路は、是政橋等の交通渋滞を緩和するため、平成7年に完成した大変便利な橋であるが、有料のため市民の利用度が低いと思う。

また、都における有料の橋は、この稲城大橋有料道路だけと聞く。そこで、本市だけでなく、

稲城市や町田市等の複数の自治体と一致協力して、都道路公社と無料化に向けての交渉をすべきと思うがどうか。

都市整備部長 本市単独で関係機関に無料化を要望するのは、限界があると考えている。そこで、立川市から狛江市までの間で、多摩川にかかる橋りょう及び関連道路の整備

アスベスト対策基本方針 策定の考えは

基本方針を定め 対策を進めていく

村崎 啓二議員 アスベスト問題に関しては、連日のように各地から健康被害等の実態が報道されている。アスベストの情報や知識が十分でないこともあり、市民の中に不安感が大きく広が

教師と児童との 触れ合い時間確保のため O A 機器などの活用を

O A 機器などを活用し 事務処理時間の軽減に努めていく

村井 浩議員 日教組調べでは、6割の教員が児童との触れ合いが不足しているという。教員は、授業以外にも多くの職務があり、触れ合いの時間を今以上に欲しいと願っており、このことは、教育委員会も理解していると聞く。

そこで、児童との触れ合い時間の確保のため、O A 機器の活用などを促進していく必要を目的として、関係8市で構成する多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会がある中で、この中で対応について協議していきたい。

他下河原緑道の整備について

ている。本市では、これまでもアスベスト対策を適切に実施してきたと認識しているが、アスベスト「ゼロ」の実現に向け、市独自のアスベスト対策基本方針や実施計画等を早急に作成し、公表することが必要と思うが、どう考えるか。

市長 本市では、昭和62年に市の施設での使用状況を調査し、露出箇所の除去等の措置を講じているが、改めて設計図書や目視等により状況を調査した。

今後は、更に詳細に調査し、安全性を確認するとともに、民間施設を含めたすべての施設におけるアスベスト問題に

要があると思うがどうか。教育長 O A 機器の活用は、事務量の軽減等を図るための一方策として必要と考える。そのために、府中第七中学校で開発した成績処理システムを更に改善し、市内全中学校へ普及させたい。

また、小学校における絶対評価の適正な実施や、通知表作成にかかるシステム開発などを進めながら、できるだけ早急に、事務処理にかかる時間の軽減に努めていく。



▲市内緑化の推進を

議員 市民緑化推進へのサポート策として、緑化補助等の拡大について検討する必要があると思うが、生け

コミュニティバス 見直しについての考えは

検討協議会の提言をもとに 見直しを行いたい

田中 慎一議員 コミュニティバスの路線等の見直しについて、その考えを聞きたい。市長 市民からは、路線の延長等様々な意見がある。また、道路整備等により、地域の状況が変化しているため、コ

そこで、検討協議会には、公募の市民を入れ、地域の生の声を最大限に反映させることが必要



▲コミュニティバス

対処できる基本方針を定めて、アスベストを減らすための対策を講じていきたい。

ユニティバスの今後の在り方について、検証のための検討協議会を設置し、その提言をもとに見直しを行いたい。

環境安全部長 検討協議会については、現在の利用者層の状況や住民の意識調査などを十分行った上で、住民の意見や要望を十分反映させることができる形で対応したい。

生け垣奨励金 補助基準緩和の考えは

現行基準を見直し レベルアップを検討したい

手塚 歳久議員 地球温暖化抑制等のため、緑化推進は大変重要と思うがどうか。

市長 緑化の推進は、安全で快適に住めるまちづくりを進める上で、大変重要と考える。

また、屋上や壁面の緑化等についても、補助金以外に、緑化に関する指導など、様々な方法があると思うが、支援策を検討する考えは。

水と緑事業本部長 生け垣奨励金は、現行の基準では、補助を受けることが困難な事例も見受けられるので、交付基準等の見直しを行い、レベルアップできるように検討したい。

また、屋上緑化等に関し、市民に適切な指導、助言ができるよう、技術情報などを収集し、情報提供に努めたい。

他子育て支援のさらなる充実について